

運用指針

第2条

供用までの期間を短縮したことによる費用の縮減

こう かつちやま くさ つ たなかみ
新名神高速道路(甲賀土山IC ~ 草津田上IC)の早期供用

新名神高速道路(甲賀土山IC ~ 草津田上IC) 位置図



新名神高速道路(甲賀土山IC ~ 草津田上IC)の路線概要

- ・東西の基幹交通を担う大動脈である名神高速道路の代替機能を有する重要路線である。
- ・開通後の交通量は約3万台/日であり、並行する名神高速道路の渋滞緩和や沿線地域の活性化に寄与。

当初の工程計画

平成20年10月頃の用地取得を予定として供用時期を検討

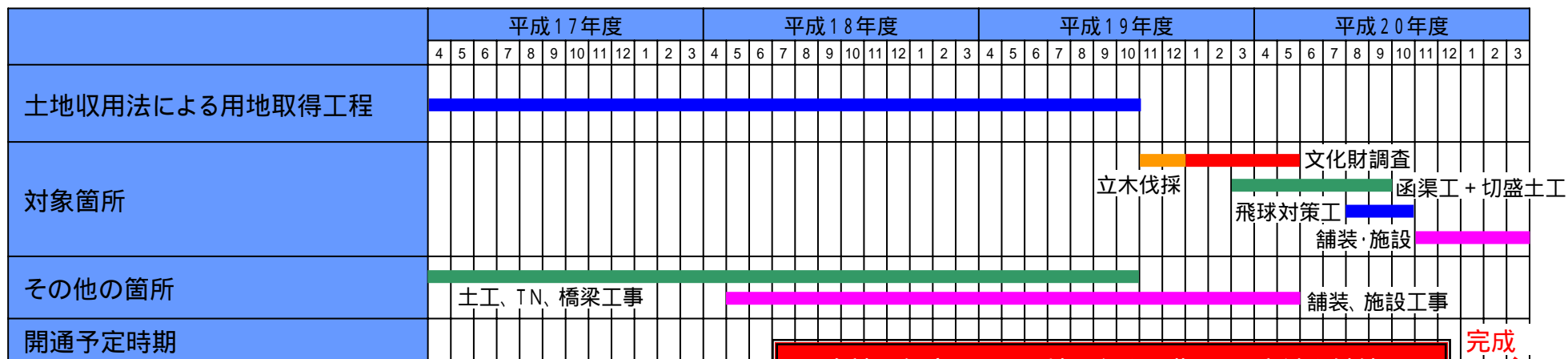
土地収用法による用地取得での当初工事工程表



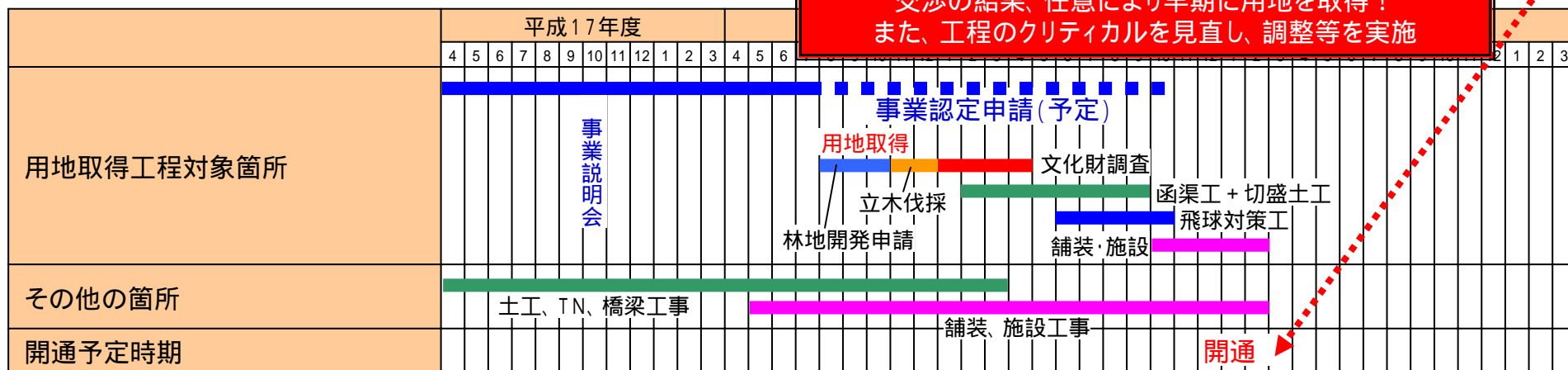
工事完成予定を平成21年3月末として協定を締結

工期短縮への取組み

土地収用法による事業認定・収用裁決での工事工程表



任意解決による用地取得での工事工程表



会社は任意による用地取得を目指して、交渉を継続。
交渉の結果、任意により早期に用地を取得！
また、工程のクリティカルを見直し、調整等を実施

工期短縮への取組みの結果、402日の早期供用(平成20年2月23日供用)
 (コスト縮減以外のメリット)
 ・早期供用に伴う社会的便益の早期発現

経営努力要件適合性の認定について

早期の用地取得に向け粘り強く交渉した結果、任意で用地を取得したことにより、**供用までの期間を短縮したものである。**

運用指針第2条第1項第3号に該当

供用までの期間を402日間短縮したことによる
建設中一般管理費及び建設中金利の縮減



会社の経営努力による
ものであると認定

助成金交付における経営努力要件適合性の認定に関する運用指針（抜粋）

第二条 経営努力要件適合性の認定基準

機構は、助成金交付申請をした高速道路会社の主体的かつ積極的な努力による次の各号に掲げる費用の縮減（適正な品質や管理水準を確保したものに限る。）について、経営努力要件適合性の認定を行うものとする。

供用までの期間を短縮したことによる費用の縮減